

# 三重県における適応への取組について

変化する気候と、これからの備え  
～ 影響をかわしながら生きる～



地球温暖化が進行すると、  
気候に変化が現れると予測されています。

私たちの暮らしや環境は、  
気候の変化によってさまざまな影響を  
もたらされることになりそうです。

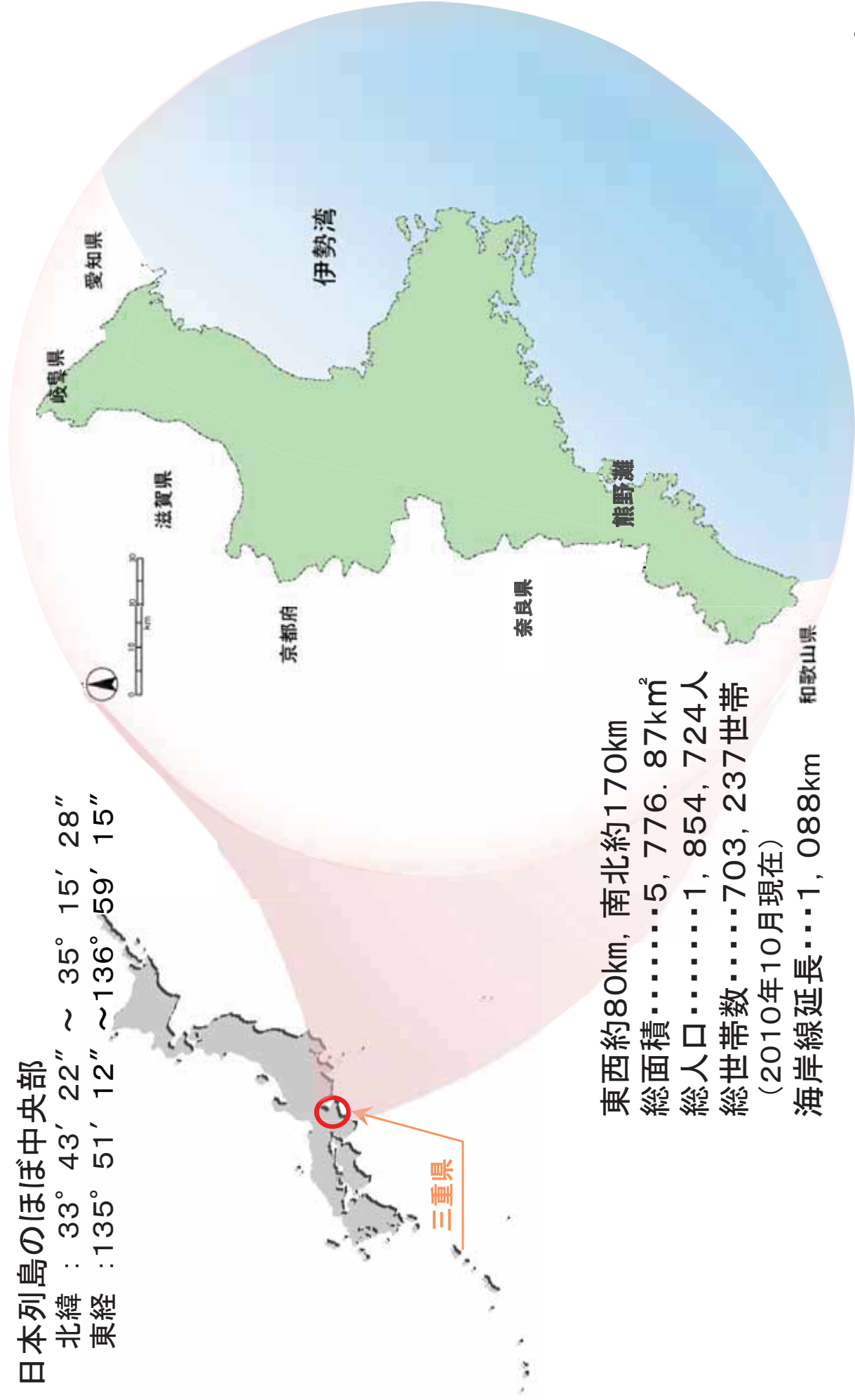
三重県  
環境生活部地球温暖化対策課

# 三重県の地勢

日本列島のほぼ中央部

北緯 : 33° 43' 22" ~ 35° 15' 28"

東経 : 135° 51' 12" ~ 136° 59' 15"



東西約80km, 南北約170km  
総面積……5,776.87km<sup>2</sup>  
総人口……1,854,724人  
総世帯数……703,237世帯  
(2010年10月現在)  
海岸線延長……1,088km

# 三重県における地勢と気候の概要

名古屋

地勢・地形

気候条件

年平均気温： $15.8^{\circ}\text{C}$   
年平均降水量： $1,535.3$



冬期：  
山頂部付近で2mを  
超える積雪も

年平均気温は約 $14^{\circ}\text{C}$   
盆地は夏と冬の気温差大  
年間通して霧の発生多い  
年降水量は約 $1,400\text{mm}$

年平均気温は約 $15^{\circ}\text{C}$   
年降水量は  
 $1,600\sim 1,900\text{mm}$   
冬期：北西の強い  
季節風「鈴鹿おろし」

降水量の多い  
ことで知られる  
紀伊山地

年平均気温は約 $16^{\circ}\text{C}$   
年降水量は多く  
尾鷲で約 $4,000\text{mm}$   
(屋久島に次ぐ全国2位)

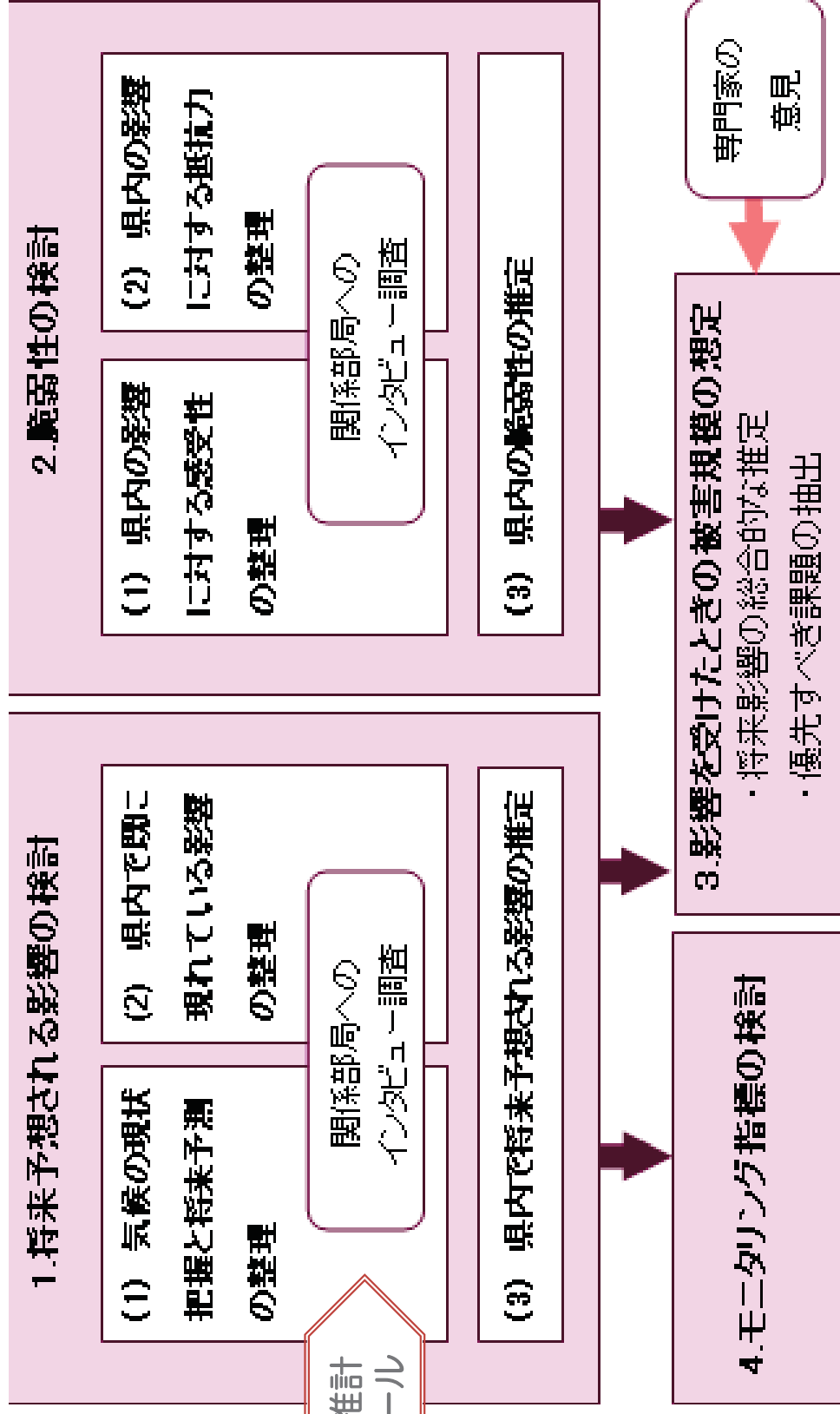
海水温、潮位、  
波浪、強風など  
海洋の影響

(図は「三重県景観計画」(三重県)より引用)

(図は「三重県景観計画」(三重県)より引用)

# くらしにおける地球温暖化適応推進事業

## 【平成24(2012)年度調査のフロー】

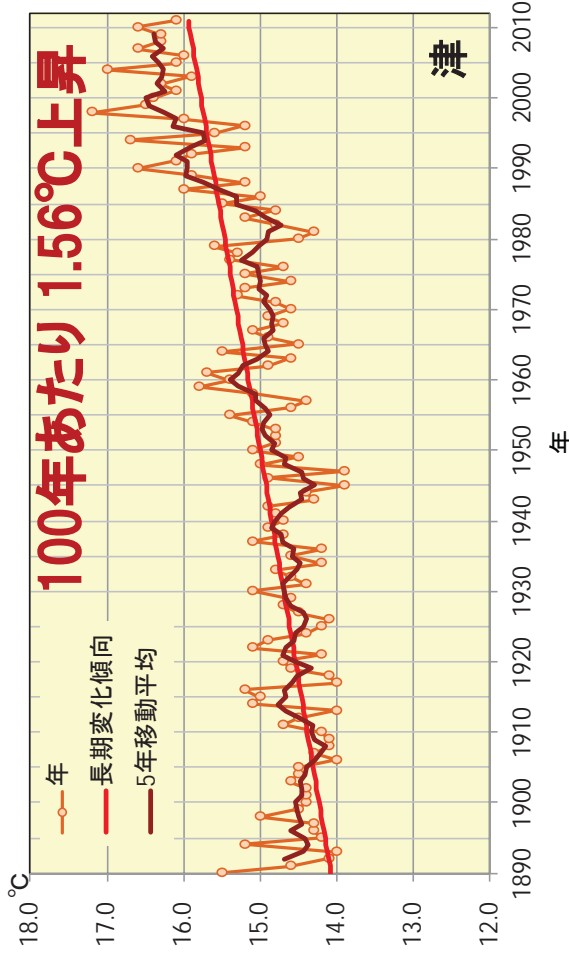




# 気象の現状把握

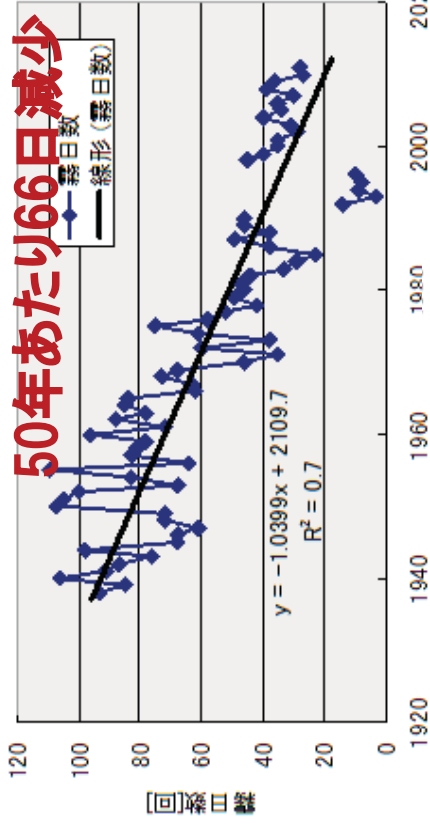
くらしにおける温暖化適応策推進事業

気候変動による  
影響への  
**適応**



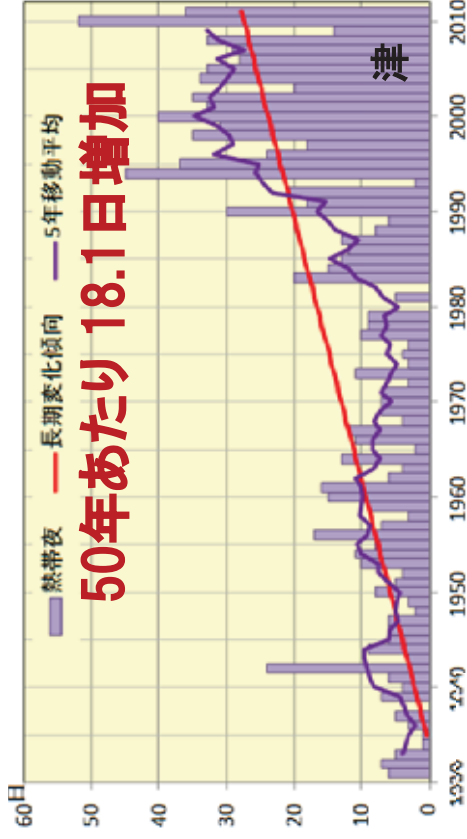
津(津市)における年平均気温の経年変化

出典:東京管区気象台「気象変化レポート2012」



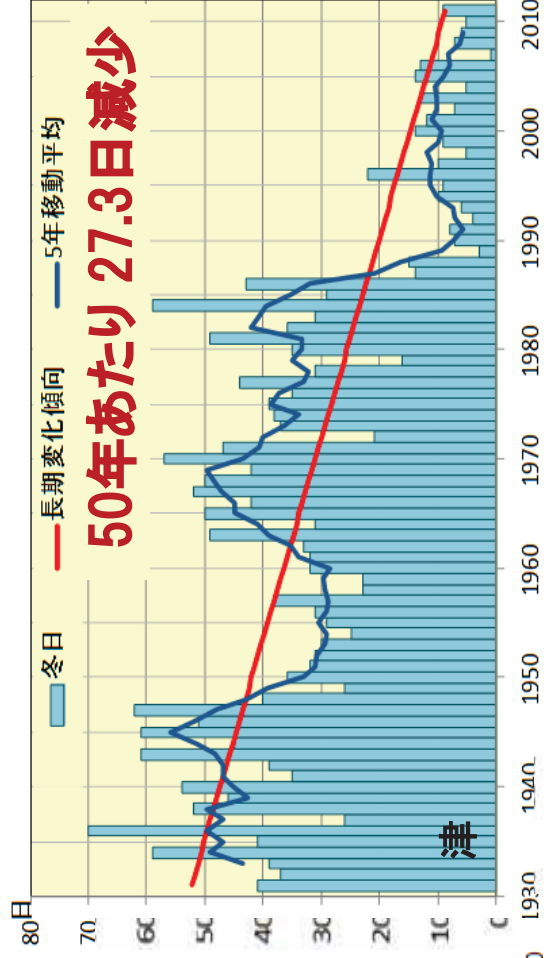
上野(伊賀市)における各年の霧日数の経年変化

出典:「気象庁 気象統計情報データ」(気象庁、各年)より作成



熱帯夜(日最低気温25°C以上の日)の日数の経年変化

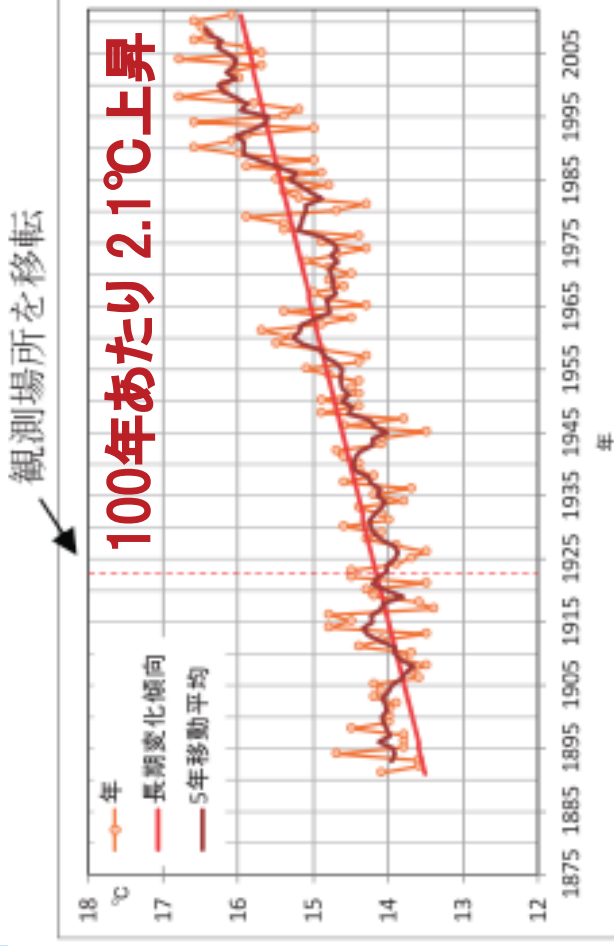
出典:東京管区気象台「気象変化レポート2012」



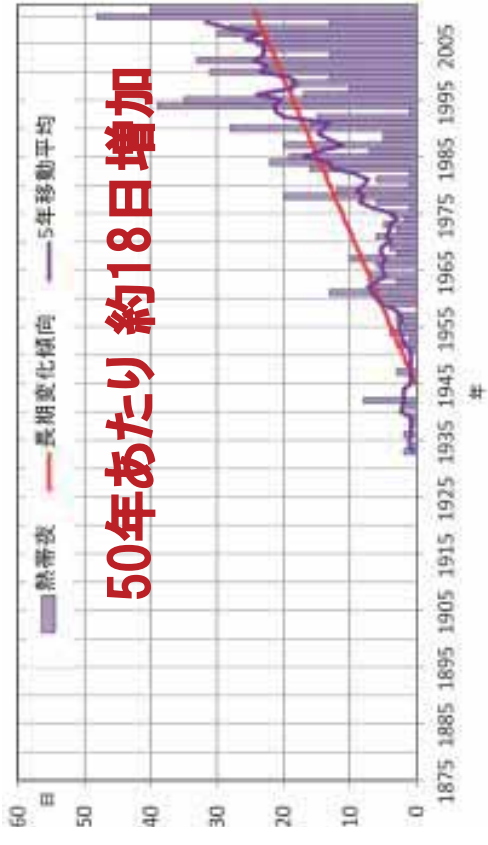
冬日(日最低気温0°C未満の日)の日数の経年変化

出典:東京管区気象台「気象変化レポート2012」

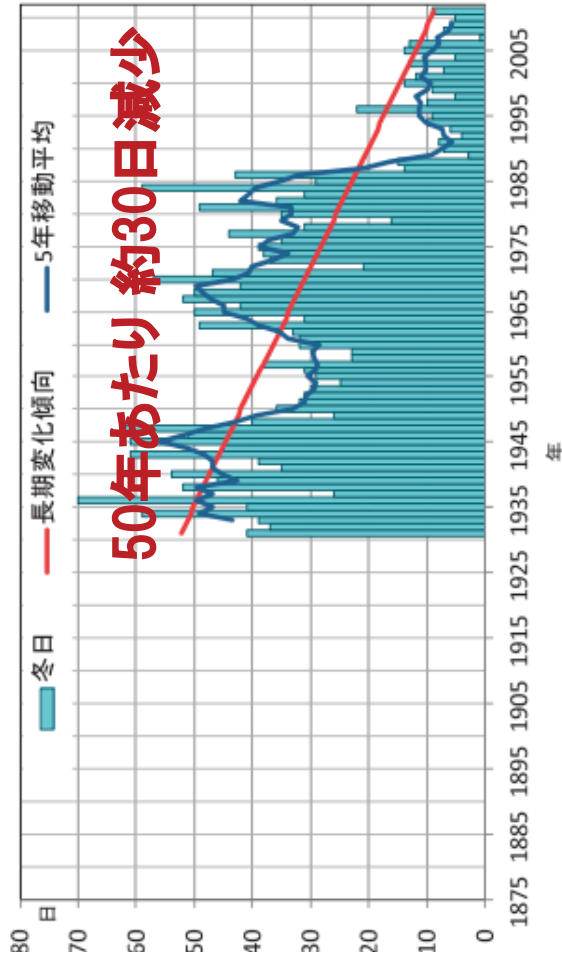
# 気象の現状把握（名古屋）



名古屋（名古屋市）における年平均気温の経年変化  
出典：東京管区気象台「気象変化レポート2012」



熱帯夜（日最低気温25°C以上の日）の日数の経年変化  
出典：東京管区気象台「気象変化レポート2012」

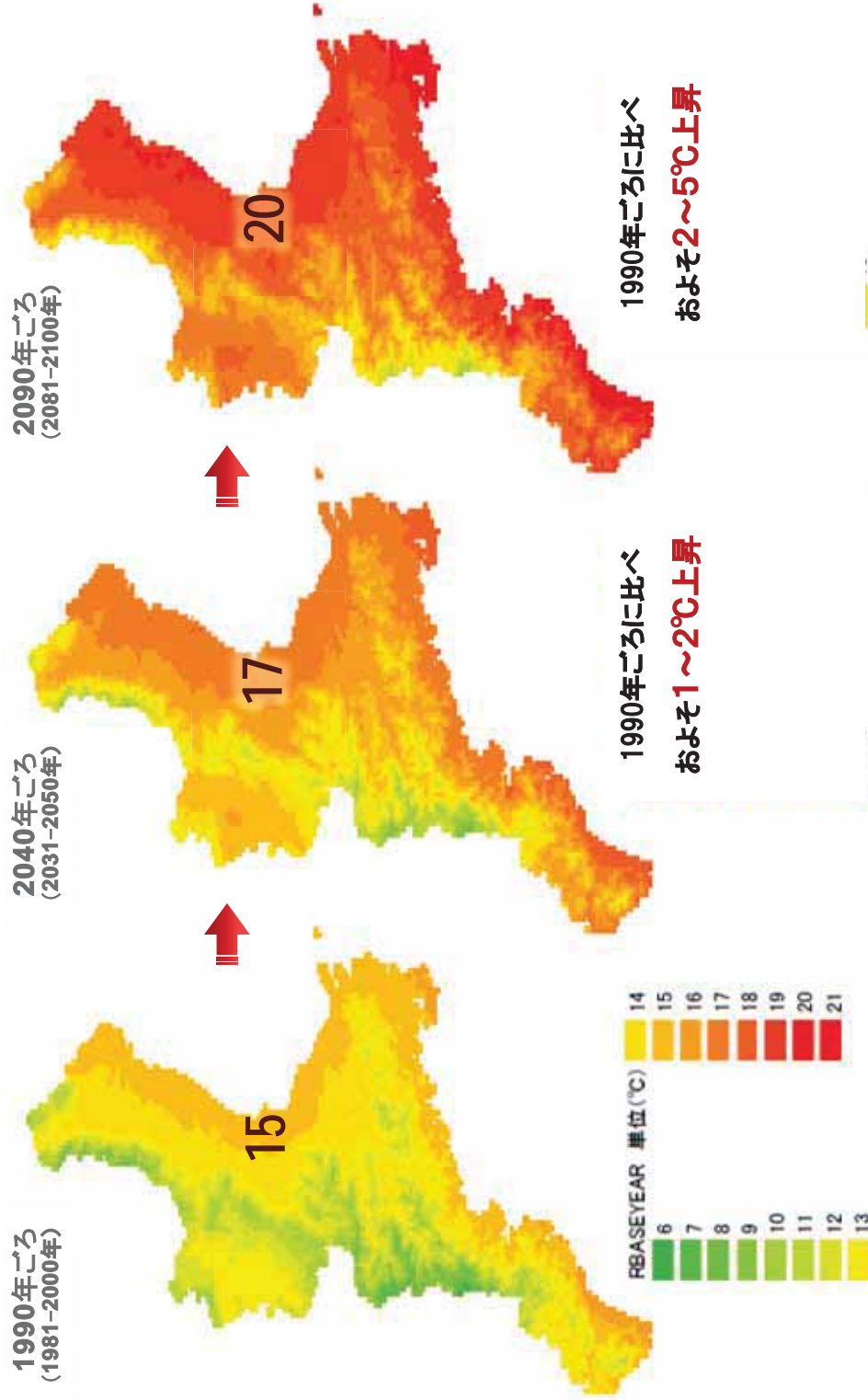


冬日（日最低気温0°C未満の日）の日数の経年変化  
出典：東京管区気象台「気象変化レポート2012」

# 気候の将来予測の整理(1)

くらしにおける温暖化適応策推進事業

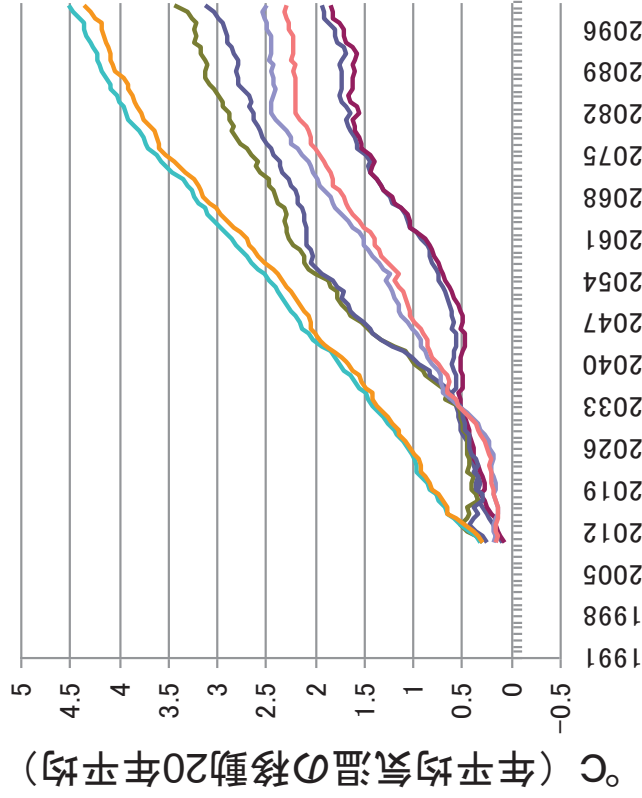
## 【年平均気温】



(簡易推計ツールによる予測結果をもとに作成)

# 気候の将来予測の整理(2)

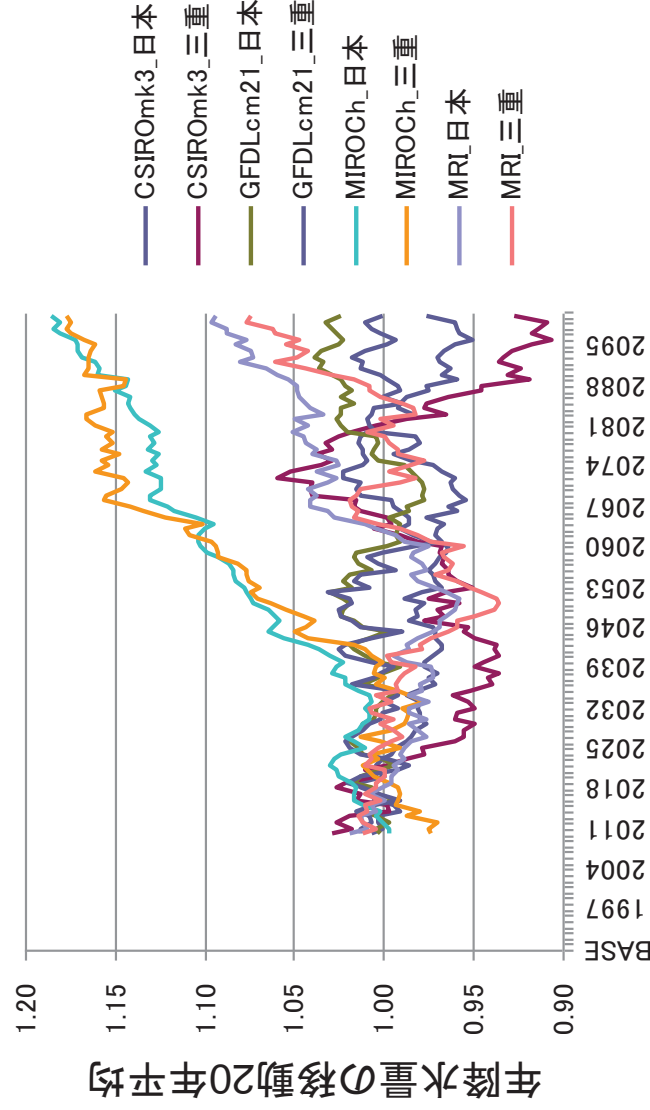
くらしにおける温暖化適応施策推進事業



三重県及び日本全国における

将来の気温上昇量

(1981～2000年の平均気温からの上昇量)



三重県及び日本全国における

将来の降水量変化

(1981～2000年の年降水量からの変化率)



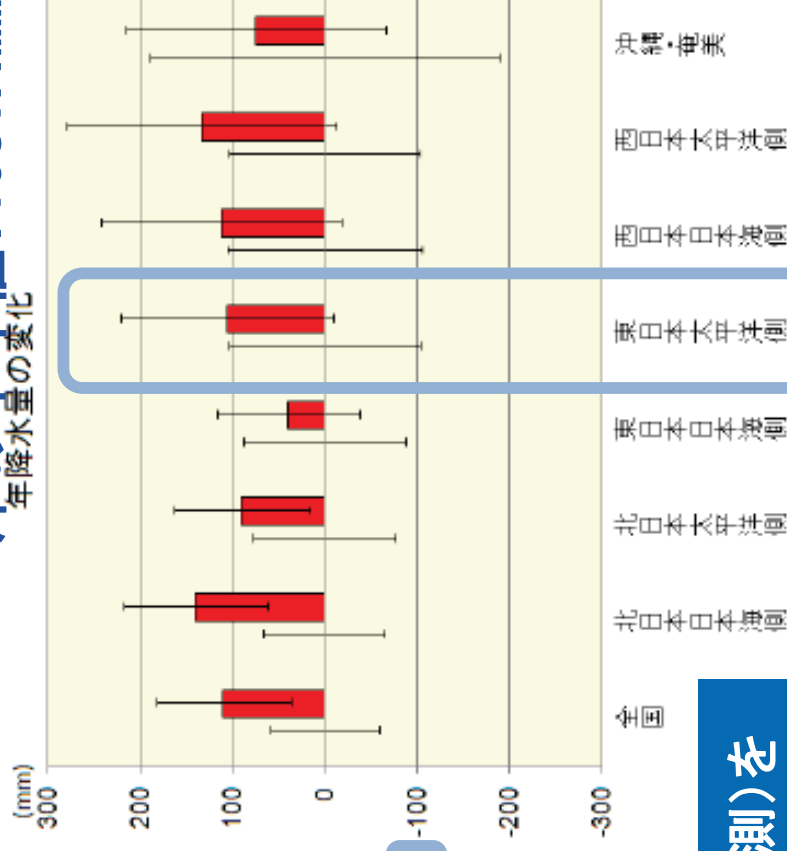
# 気候の将来予測の整理(3)

## 降水量の予測(年降水量)

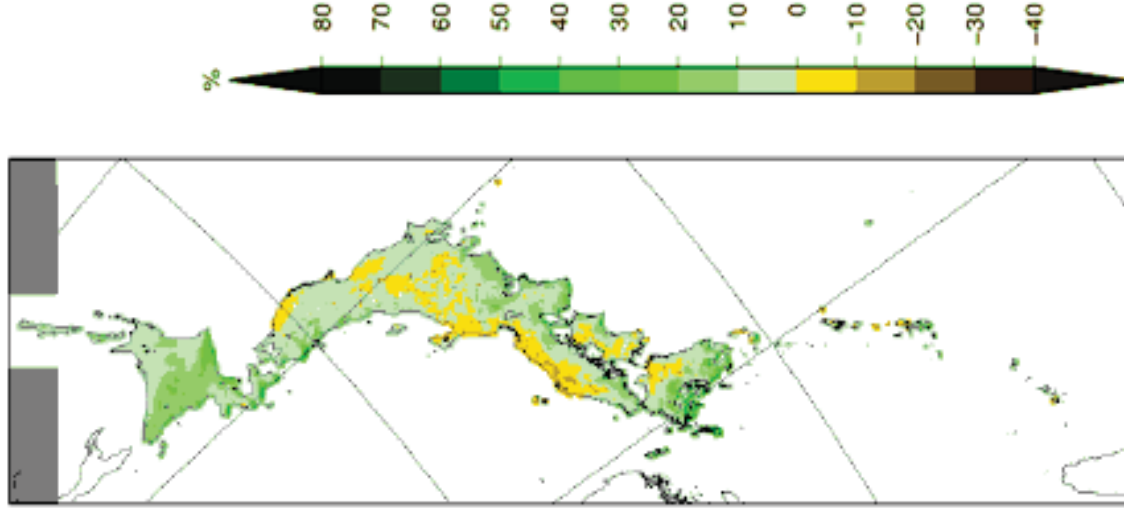
年降水量は北日本で増加。名古屋の平年値: 1535.3mm

津の平年値: 1581.4mm  
年降水量の変化

	年
全国	109.1
北日本日本海側	139.5
北日本太平洋側	89.4
東日本日本海側	39.3
東日本太平洋側	105.6
西日本日本海側	111.7
西日本太平洋側	133.1
沖縄・奄美	74.4



21世紀末の気候(予測)を  
20世紀末の気候と比較

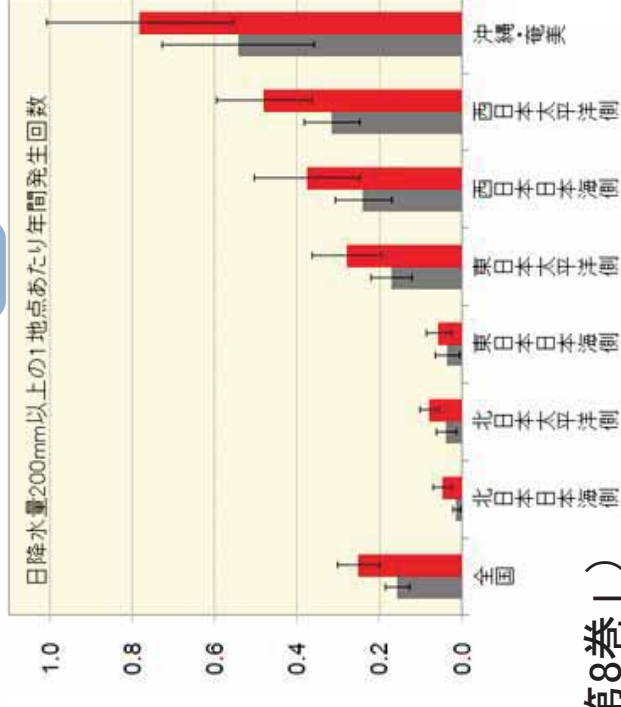
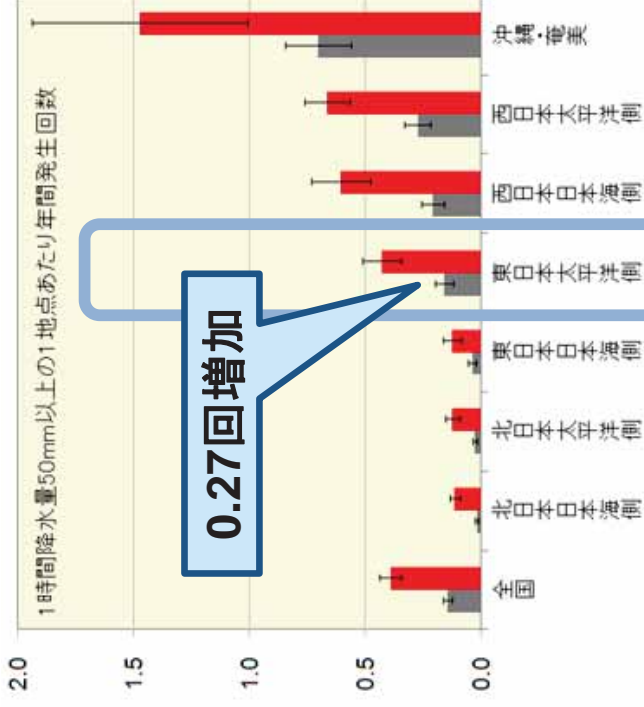


# 気候の将来予測の整理(4)

## 降水量の予測(短時間の強雨)

大雨や短時間強雨の発生頻度は増加。

	18時間降水量 30ミリ以上	1時間降水量 50ミリ以上	日降水量 100ミリ以上	日降水量 200ミリ以上
全国	0.63	0.25	0.43	0.09
北日本日本海側	0.31	0.09	0.26	0.03
北日本太平洋側	0.30	0.10	0.30	0.04
東日本日本海側	0.32	0.08	0.18	0.02
東日本太平洋側	0.76	0.27	0.44	0.11
西日本日本海側	0.91	0.40	0.56	0.14
西日本太平洋側	0.91	0.39	0.67	0.16
沖縄・奄美	1.33	0.77	0.47	0.24



# 気候の将来予測の整理(5)

## 降水量の予測(無降水日数)

雨の降らない日が増加。

約8日増加

